



ごはん・お米とわたし

作文・図画岩手県コンクール

入賞作品紹介



「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールは、次世代を担う小・中学生に、日本の豊かな食卓と国土を作り上げてきた稲作をはじめとする農業についての学びを深めてもらうことを目的に、昭和51年から毎年実施しています。

令和5年に行われた岩手県コンクールには233点(作文173点、図画60点)の応募がありました。今回は、JA管内から選ばれた上位入賞作品をご紹介します。

なお、学校・学年は令和5年時のものとなります。



たかはし はるいち
高橋 晴一さん (北上市立江釣子小学校5年)



優秀賞

「真剣なお米とき」



晴一さんからのコメント
 ぼくがお米ときをしながら描いた絵です。ツヤのあるごはんにしたいたいと思いつつもお米ときをしています。賞に選ばれた時はうれしくて、すぐに遠方の祖父母に電話して感謝の気持ちを伝えました。祖父母は喜んでくれて、たくさんお米を送ってくれました。絵は、思い出をさせる所や色を工夫して表現できる所、個人の自由に想像できる所が好きです。



まつだ れん
松田 蓮さん (花巻市立宮野目小学校6年)



優秀賞

「大好きなみそ焼おにぎり」



蓮さんからひとこと

みそおにぎりが大好きで、お母さんに作ってもらったり、自分でも焼いたりしてよく食べています。今回は自分が楽しく作っている時のことを思い出しながらかきました。賞に選ばれると思っておらず驚きましたが、家族や先生、友達に「すごいね」とたくさん言われてとてもうれしくなりました。絵は、自分がイメージしたことを自由に表現できる所が好きです。



惟人さんからひとこと

自分で「おいしいごはんを食べているなあ」と思いながら描きました。賞に選ばれた時はびっくりしたけれど、学校の皆が「惟人くんすごい！」と言ってくれたり、お父さん、お母さん、じい、ばばにお祝いしてもらったりしてうれしかったです。図画は、完成したらどうなるかとイメージしながら、想像のキャラクターや世界を描ける所が楽しいです。



たかはし ゆいと
高橋 惟人さん (西和賀町立湯田小学校2年)



JA岩手県五連会長賞